

平成 28 年度 院 内 認 定 制 度

	アドバンスコース					ベーシックコース(育成委員会主催)		
	1	2	3	4	5	1	2	3
コース名	外来化学療法室血管穿刺ナース	ストーマサイトマーキング実践ナース	嚥下障害看護	糖尿病療養指導士	院内急変対応(RRS)コース	臨地実習指導者	新人看護職員研修教育担当者	新人看護職員研修
コース責任者	竹内由佳	牧和美	松田朋子	舘林真由美	岩崎翼、神谷弥生	教育担当課長	教育担当課長	教育担当課長
認定資格取得後の役割	外来化学療法室で化学療法開始時の血管穿刺を実施する	・ストーマ造設患者のサイトマーキングを実践する ・ストーマリハビリテーション講習会参加への必要要件講習とする。	・自部署での嚥下障害看護に関する実践・リーダーシップ ・摂食機能療法算定	自部署での糖尿病患者療養指導の実践	・自部署での急変対応の能力向上に貢献 ・RRS(院内急変対応システム)の部署でのコメンターとしてリーダーシップをとる ・院内研修への協力	1. 臨地実習指導の担当 2. 次期指導者の育成	1. 新人看護職員臨床研修指導の担当 2. 次年度担当者研修での講義・アドバイザー	半田病院の看護職員として、看護業務を遂行する
受講資格・受講要件	以下の条件を満たす者 ・ラダーⅡ以上 ・化学療法看護経験がある者 ・外来化学療法に携わる者 ・コース責任者が推薦した者	以下の条件を満たす者 ・ラダーⅡ以上 ・ストーマ造設患者看護に携わっている者(2A,3A,Op室、ICU,ER) ・定員4名(申し込み順)	以下の条件を満たす者 ・ラダーⅡ以上	以下の条件を満たす者 ・糖尿病患者業務に携わった臨床経験が2年以上 ・糖尿病看護に興味があり、部署の長が推薦した者 ・定員なし	以下の条件を満たす者 ・ラダーⅡ以上 ・所属長の推薦 ・レスキューナース認定者 ・院内急変対応の経験者が望ましい	以下の条件を満たすもの ・ラダーⅡ以上	以下の条件を満たす者 ・ラダーⅢ以上もしくは、所属課長が認めた者 ・10月からの担当者研修に参加し、4月からの新人看護職員臨床研修を担当できる者	以下の条件を満たす者 ・新卒看護職員
講義・演習・実習(時間数・内容)	3回シリーズ 1回1時間(講義・演習・CVポート穿刺演習含む)	3回シリーズ ・5月6月7月の第4火曜日17:30～の開催予定	4回シリーズ ・5月、8月、11月、2月の第4木曜日17:30～ ・嚥下回診に3回以上参加(自部署のみでも可)	10回シリーズ 月1回1時間(講義・最終テスト)	5回シリーズ 5月、6月、9月、11月 2月の第4金曜日17:30から1時間を予定(講義・実践・テスト)	2回シリーズ 第1回:講義(院外講師)・グループワーク 第2回:伝達講習・グループワーク	1. コーチング研修 2. 10月から新人看護職員臨床研修終了までの期間中、2回/月の研修	1. 約2ヶ月のローテーション研修
修了条件・評価方法	1.全シリーズ参加 2.第3回目に全内容を含んだ小テスト 3.技術(演習時) 4.受講態度	・3回の講義すべて出席とする。 ・実際に、講師同席の元患者のサイトマーキングを実施してもらい、評価する。	1. 全シリーズ参加(1回までは希望時補習可能) 2. 小テスト 3. 課題提出(症例からのアセスメント、対策)	1.6割参加 2.最終月に筆記試験	・全シリーズ参加 ・実践テスト ・課題提出(自部署の急変症例振り返り)	1. 全研修参加 2. レポート提出2回	1. コーチング研修振り返りの提出 2. 全研修の80%参加できた者	1. 約2ヶ月のローテーション研修
最終決定日時及び場所	随時開催にて未定	場所:多目的ホール 5月24日(火) 6月28日(火) 7月26日(火)	5月26日(木) 8月25日(木) 11月24日(木) 2月23日(木)	H28年5～H29年2まで毎月1回第1水曜日 17:30～第3会議室	場所は随時お知らせ 5月27日(金) 6月24日(金) 9月23日(金) 11月25日(金) 2月24日(金)			
認定の条件・基準	1.テスト成績80点以上 2.技術チェック	技術チェック(サイトマーキング及び患者説明)	1. 小テスト成績80点以上 2. 課題内容チェック	1.テストで60%以上	・実践テストで評価 ・課題チェック	レポート内容から、看護局長・次長・教育担当課長にて認定審査を行う	研修参加率とコーチング研修振り返り提出状況により、教育委員で認定審査を行う	1. 看護局長・次長・教育担当課長にて認定審査を行う 2. 年度末に在籍している者
更新方法・審査	コース責任者にて外来化学療法室での血管穿刺技術チェック、投与管理中の手技チェック	患者のサイトマーキングを施行してもらい、随時チェックすることで、フォローアップする。	年1回課題提出(症例からのアセスメント、対策)	1年後のテストを受け60点以上あれば更新とする 日本糖尿病療養指導士の試験を受験し合格した場合は審査や更新はなし	1年後の実践テストで評価	臨地実習指導を担当する	実地指導を担当する	更新なし